

ニュージーランドにあるプレイセンターについて

プレイセンターとは……

プレイセンターとは、保護者が先生の代わりになって子どもの面倒を見る保育施設である。

日本の幼稚園とは違い、子どもがやりたいと思うことをやらせてあげる、という自由なスタイルの教育である。それに加え、子どもたちの教材を保護者が手作りして提供し、子どもたちの安全を第一に考えている。私たちも実際に小麦粉を使った粘土を作った。子どもたちが口に入れて飲み込まないために、たくさんの食塩を粘土に入れた。水とお湯でそれぞれ作った粘土は固さがとても違い、そういった発見は子どもたちだけでなく、親も学ぶことが出来る。



日本の幼児教育とは違い、親子で一緒に学んでいくという点もこのプレイセンター 粘土を作る材料↑

プレイセンターで保護者の方のお話を聞いて……

実際にプレイセンターで子どもの世話をしている保護者にお話を聞いてみた。

まず、プレイセンターで大変なことは「保護者が全て計画をして行うことが大変だ」とおっしゃっていた。

次に、9時から12時までの3時間子どもを預けることができ、週に2日で45ドル、3日で60ドルと週に何回通うかによって料金が変わる。ニュージーランドでは、3歳以上は1か月に20時間の保育料が無料になる。預かる人数は毎日違うが、だいたい8人から10人で活動している。

最後に、プレイセンターに通うことで、子どもに友達がたくさんできる。また、「子どもが独立することができ、良いことばかりである」とおっしゃっていた。



遊具↑



←乳児の遊び場